



平成28年度 学校だより

長崎県立佐世保南高等学校

緑 柏

No. 136 平成28年 7月26日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

「学習合宿の舞台裏」

校長 松井 裕次

一斉学習方式

学習合宿は、私たちが生徒の頃はなかったシステムだ。昭和50年代に開発された手法である。当初は、弓張や鹿子前の観光ホテルの個室に、普段、生徒が教室で使っている机や椅子をトラックで運び込むことから始まった。徐々に長机を利用した「一斉学習方式」に移行していった。ホテルの大広間を大教室に見立て、学年全員が一斉に学習するシステムだ。この合宿のためだけに、間仕切りを取り払い、天井の蛍光灯を増設していただく。佐世保三校の平成2年度入学生は1クラス47人。学年470人が1つの教室で勉強する光景は壮観だった。長机は現在と同じサイズだが、大きく違うのは3人掛けを強いられていたことである。特に、体の大きい柔道部員と同じ机で勉強した生徒は苦しそうだった。学習合宿は1年生にも広がっていった。保護者からは、2年生でもやって欲しいとの声があるが、修学旅行が2年生で実施されることもあり、費用の問題からその実施は難しい。

勉強したい人の自由

学習合宿は、学習の質を高め、自己の限界まで学習に挑戦する取組であるのは言うまでもない。もう一つの魅力は、各教科の「質問教室」である。生徒は、休憩時間に質問用紙を提出し、学習に集中しながら質問の順番を待つ。私は数学担当で、教科の特性上、出番が多かった。正直、それは教師冥利に尽きる。生徒に問題の解法に気づかせ、分かる喜びを伝え続けることに専念できる空間である。生徒も教師の個人指導を楽しみにしている。しかし、長時間学習に耐えられない「質問渡り鳥」も散見される…。

就寝時間後、職員は生徒を起こさぬように、さしずめ忍者のように廊下をすべり、ドアに耳をあて、生徒が寝静まるのを確かめてゆく。まだ、起きている者があれば、指導する。夜の睡眠は、明日のためにある。頭と体を休め、明日の学習に備えるのだ。「勉強したい人の自由が尊重される」。これが、学習合宿の憲法みたいなもの。したがって、「眠りたい人の自由が尊重される」。すべては学習のためにある。

職員はその後、クラスの生徒の日記に目を通し、一喜一憂しながら短いコメントを書き添える。そして翌朝も体操時の健康観察から1日が始まる。質問教室は待っていてくれない。職員も不眠不休である。

南高の学習合宿の1日の学習時間は10時間20分。それに物足りない「学習室1番乗り」が現れる。食事の後、入浴の後、早朝に現れる。起床時間前に、見廻りをしていると、学習室の片隅に明かりを点けて勉強している人影を目にする。決められた学習以上の隙間時間を創り出そうとする生徒たちだ。この人たちの多くは進路実現を達成する。(一人一人の体調には個人差がある。隙間時間の見つけ方、使い方はその人に任されている。)

緊張と弛緩

多くの生徒は、「勉強するとお腹が減る」という初めての体験をする。南高の学習合宿は、その食事の時間に特徴がある。何しろ底抜けに明るい。ごちそうさまの前に、芸達者な人たちが、皆を楽しませてくれる。「出し物ばかり考えていたのではないかと疑いたくなる人もいる。中にはスベル人もいるが、それも楽しい。それでも、時間がくると無言で学習室へ入っていく。緊張と弛緩の繰り返しが、集中力をつくり出す。

学習室では、生徒が眠らないように表情を見ながら励まして回る。恐る恐る近づいて肩を揺らす。眠っていたのに、「眠っていません」と目で訴えてくる生徒もいる。変わろうとしなければ何も変わらない。合宿から帰ってからの時間の方が圧倒的に長い。南高生一人ひとりがこの合宿で成長し、養成した集中力を遺憾なく発揮して、大きな夢をつかみ取ってほしい。(最後になりますが、育友会の皆様の激励と訪問に感謝します。)

○野球部・吹奏楽部壮行式

7月4日(月)、全国高等学校野球選手権大会県予選に出場する野球部と、全国高等学校吹奏楽コンクール県予選に出場する吹奏楽部の壮行式が開催されました。

式は、吹奏楽部による「栄冠は君に輝く」の演奏に合わせた野球部の選手入場ではじまり、全校生徒が手拍子でこれを迎えました。野球部主将の仲地恵人君、吹奏楽部部長の志水理予さんの決意表明、豊村一心常任委員長の激励の言葉と全校生徒が想いを込めた横断幕の贈呈がおこなわれた後、吹奏楽部が課題曲「ある英雄の記憶～虹の国と氷の国～」・自由曲「ラッキー・ドラゴン～第五福竜丸の記憶」の演奏を披露。最後は今回から応援部を率いる中村碧希君の指揮で応援活動がおこなわれ、両部に対して全校生徒から熱いエールが送られました。

○野球部結果
1回戦 対 大村高校 8－3 (勝ち)
2回戦 対 長崎商業高校 2－6 (負け)



○九州大会の結果

○女子バスケットボール部 (6月25日、26日 佐賀市諸富町文化体育館)
1回戦 対 東海大学付属福岡高校 55－74 (負け)

6月25日、佐賀県で行われた九州大会に出場してきました。試合は福岡県1位の東海大学付属福岡高校と対戦しました。前半は互いの力をぶつけ合い、リードした状態で後半をむかえることができました。しかし、こちらは体力がもたず、スピードやシュートの精度が落ちていく一方、相手は最後まで序盤と変わらないスピードとプレーで最後は点差を離され、負けてしまいました。

まだまだ力不足だということを痛感しました。今後は新チーム体制になります。更なる高みを目指して、頑張っていきたいと思います。たくさんのご声援ありがとうございました。

○水泳部 (7月16日(土)～18日(月) 熊本アクアドーム)

7月16日から18日までの3日間、大分県別府市で全九州大会が開催されました。本校から3年生の松田裕也君、山下千尋さん、2年生の南里愛恵さん、1年生の水町匠君が出場しました。小雨が降ったり、太陽に照り付けられたりする屋外プールでの競技で、休憩場所も屋外のテントで調整が難しい中、皆、力を振り絞り力泳しました。次の新人戦、来年度の高総体に希望をつなぐことができるレースでした。猛暑の中、応援していただいた皆様に感謝いたします。

男子

100m、200m自由形 松田裕也 (予選敗退)
200mバタフライ 水町匠 (予選敗退)

女子

100m、200m背泳ぎ 山下千尋 (予選敗退)
400m、800m自由形 南里愛恵 (予選敗退)



全国高等学校総合文化祭

7月20日(水)、広島県で開催される2016広島総文に出場する邦楽部の壮行式がおこなわれました。式では、部長の北村美紅さんにより邦楽部12名の生徒が紹介され、決意表明がおこなわれました。その後、全国大会で演奏する曲目「音、きらら」の演奏がおこなわれ、美しい琴の音色が全校生徒を魅了しました。邦楽部の全国総文祭出場は今年で4年連続であり、今や長崎県の「顔」となっています。全国の舞台での邦楽部の活躍を祈っています。



○校内大会

7月5日(火)、6日(水)の両日、前期校内大会が開催されました。今回の大会は、男子がサッカー、バスケットボール、女子がバレーボール、ドッジボールで競技が実施され、天候にも恵まれて各試合で熱戦が展開されました。表彰式も、賞状を手にした代表生徒の壇上からのパフォーマンスにクラス全員で呼応するなど、終始なごやかな雰囲気の中で進められ、競技や応援を通してクラスメイトとの親睦を深めることができた大会となりました。大会結果は以下のとおりです

平成28年度前期校内大会結果

【男子】

サッカーの部

優勝	2位
2-3	3-2

バスケットの部

優勝	2位
3-6	2-5



【女子】

ドッジボールの部

優勝	2位
3-1	3-2B

バレーボールの部

優勝	2位
2-3A	2-2A



♪ 大学オープンキャンパス ♪

7月16日(土)から7月18日(月)にかけて、2年生が長崎大学・長崎県立大学のオープンキャンパスに参加しました。

生徒にとって、大学の講座の雰囲気や学生の様子を肌で感じられる貴重な機会です。志望する学部ごとに分かれ、講義を受けたりサークルの発表会を見学したりしながら、自分の将来の進路について思いを巡らせていました。

なお、8月6日(土)から8月10日(水)にかけては、九州大学と佐賀大学でのオープンキャンパスに参加する予定です。



参議院議員通常選挙『初投票！』

選挙権年齢が18歳まで引き下げられて、初めての選挙が7月10日に行われました。満18歳に達した本校3年生の生徒にとっては、初めての投票となりました。以下に初めての投票について感想を述べてもらいました。

○3年 Iくん

初めての投票はとても緊張しました。実際に票を投じることで、自分が政治に参加しているという実感が湧きました。これを機会にもっと政治に関心を持って生活していきたいです。

○3年 Oさん

私は今回、母親と一緒に投票に行きました。一緒に行くことでお互い以前よりも政治に興味を持つことができ、家でも選挙や政治に関する会話が增えたので良かったと思います。

○3年 Mさん

私は親と一緒に投票に行きましたが、投票所では自分自身で考えて投票しないといけないので一票の重みを実感しました。投票の結果がテレビで報道されているのを見た時、私の一票が世の中の動きに反映していると感じ、社会参加ができたような気がして嬉しくなりました。私はこれからも投票に行きます。

○3年 Kさん

選挙前には、学校で行われた説明会で配付された新聞を読み、各候補者の政策や目指しているものを確認しました。選挙当日は自分が目指すものと一番近い考えを持つ候補者に投票しました。選挙会場では受付や誘導の人が手厚く説明や対応をしてくださったのでスムーズに投票できました。初めての選挙を通して、「投票する権利」を得た有権者には「しっかりと考える責任」が伴うことを実感しました。

